

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.216

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 令和4年5月25日

企業局災害サポーターネットワークによる総会の開催

企業局では、大規模災害や漏水事故発生時に被害状況の把握や災害復旧活動等を迅速に行うため、企業局勤務経験のある退職者等に「災害サポーター」としてボランティアで協力をいただいています。

今年度は4月19日に東部、22日に西部の各事務所で災害サポーターネットワーク総会が開催されました。サポーターの方々からは、昨年度の活動報告や今年度の活動計画についての報告が行われました。

今年度から、東部事務所で1名、西部事務所で4名の新規会員が加わりました。

今後も、災害サポーターネットワークとの連携、情報共有を進め、万が一の事故等の場合にも速やかに復旧ができるよう努めてまいります。



サポーター総会（東部）



サポーター総会（西部）

企業局の取組紹介 ～企業局新任職員研修～

企業局では、新たに転入してきた職員を対象に、毎年新任職員研修を実施しています。

新任職員は、「地方公営企業の制度」や企業局が行う「工業用水道事業」、「水道事業」、「地域振興整備事業」の3事業のほか、「コンプライアンスの推進」について等の説明を受けました。

工水ユーザー、受水市町の皆様のお役に立てるよう、今後も知識・技術の習得に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、研修を実施



研修の様子



東部・西部事務所職員はWEBで参加

企業局の取組紹介 ～ひとり1改革運動～

静岡県では、「ひとり1改革運動」として、職員が日頃の業務について創意工夫をし、事務の効率化やサービス向上に取り組んでいます。

企業局においても、職員一人一人がコスト意識をもって日々の業務に取り組み、経費節減につながるよう努めています。

企業局は、令和3年度の約190件の新規取組のうち、以下の4事例を優秀事例として表彰しました。

区分	事例	概要	所属
最優秀賞	新技術を全国に発信 水道イノベーション賞 特別賞受賞！	イオン等を活用した漏水元判定 手法を確立。研究発表のほか、研 修会の講師として全国へ発信	西部事務所 水質管理センター
優秀賞	令和4年度当初予算にお ける点検業務（3条予算） の債務設定	点検業務について期間3年で債 務負担行為を設定し、事務の省力 化及び経費削減	経営課
	デマンドレスポンスによ る動力費削減	電力需給逼迫時に電力使用量を 調整し、成功報酬を獲得	水道企画課 東部事務所管理課 柿田川支所管理課
	藤枝高田工業団地の早期 引渡しに向けた取組	新たな用地処理や確定測量の工 夫等により、最大5ヶ月前倒して 引渡しを実現	地域整備課

優秀事例の中から1つ紹介します！

「令和4年度当初予算における点検業務（3条予算）の債務設定」

○現状と課題

- ・1者入札が継続しているとい
うだけでは単独随意契約
は認められない
⇒入札の手間がかかる
- ・点検業務については長期
継続契約の対象外
⇒複数年契約ができない



1改革！

令和4年度当初予算
において期間3年
(R4～R6)の債務負
担行為[※]を設定！

※債務負担行為
年度を跨いだ契約等
をする場合に、あらかじ
め翌年度以降の債務を
約束することを予算で
定めること。

○期待される効果

- 【経費削減】
3年間で840万円余の削減！
- 【事務の省力化】
職員、業者ともに契約事務が
3年に1度に！

イノベーション
マネジメント



今後も、身近な改善への取組を大切にし
全国一の企業局を目指してまいります。

6月1日(水)から6月7日(火)は「水道週間」です。

厚生労働省では、国民の皆様には水道の現状や安全安心な水を供給する取組などについての理解を深めていただくため、毎年6月1日から7日を「水道週間」と定めています。

企業局では、駿豆水道、榛南水道、遠州水道の3つの水道用水供給事業を管理運営しており、県内8市2町に水道用水を供給しています。

水道は、私たちの快適なくらしや様々な活動を支える水を供給する大切な施設です。安全でおいしい水がどのように作られているか考えてみませんか？

水は一人の

大切な水と一緒に
喜らす日々

ものじゃない

第63回水道週間懸賞募集特選 木原 涼帆さん (今治市立西中学校1年)

水道週間

令和4年6月1日(水)～6月7日(火)

厚生労働省・都道府県・市町村・水道事業者・(公社)日本水道協会・全国簡易水道協議会

出典：(公社)日本水道協会

水道事業の業務状況(令和4年4月25日現在)

4月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は96.2%、榛南水道は96.9%、遠州水道は98.2%と減少し、全体では97.8%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			4月分	累計	4月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,100	3,100	842	842	27.2
	前年度同期	100	3,100	3,100	875	875	28.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	96.2	96.2	
榛南	当該年度	27	837	837	441	441	52.7
	前年度同期	27	837	837	455	455	54.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	96.9	96.9	
遠州	当該年度	292	9,055	9,055	5,124	5,124	56.6
	前年度同期	292	9,055	9,055	5,218	5,218	57.6
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.2	98.2	
合計	当該年度	419	12,992	12,992	6,407	6,407	49.3
	前年度同期	419	12,992	12,992	6,548	6,548	50.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.8	97.8	

工業用水道事業の業務状況(令和4年4月25日現在)

4月の使用水量は、前年度同期比で、西遠工水は101.3%と増加し、柿田川工水は99.8%、富士川工水は98.8%、東駿河湾工水は97.3%、静清工水は97.7%、中遠工水は90.1%、湖西工水は98.1%と減少し、全体では97.9%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			4月分	累計	4月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,100	3,100	2,952	2,952	95.2
	前年度同期	100	3,100	3,100	2,956	2,956	95.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.8	99.8	
富士川	当該年度	25	769	769	654	654	85.1
	前年度同期	27	845	845	662	662	78.3
	前年度同期比	90.9	90.9	90.9	98.8	98.8	
東駿河湾	当該年度	301	9,317	9,317	7,527	7,527	80.8
	前年度同期	362	11,235	11,235	7,736	7,736	68.9
	前年度同期比	82.9	82.9	82.9	97.3	97.3	
静清	当該年度	51	1,544	1,544	1,101	1,101	71.3
	前年度同期	52	1,553	1,553	1,127	1,127	72.5
	前年度同期比	99.5	99.4	99.4	97.7	97.7	
中遠	当該年度	34	1,051	1,051	408	408	38.8
	前年度同期	34	1,054	1,054	452	452	42.9
	前年度同期比	99.7	99.7	99.7	90.1	90.1	
西遠	当該年度	29	891	891	620	620	69.7
	前年度同期	29	891	891	612	612	68.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	101.3	101.3	
湖西	当該年度	17	497	497	294	294	59.2
	前年度同期	17	497	497	300	300	60.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.1	98.1	
合計	当該年度	557	17,169	17,169	13,556	13,556	79.0
	前年度同期	621	19,175	19,175	13,845	13,845	72.2
	前年度同期比	89.6	89.5	89.5	97.9	97.9	